

令和2年度 第1回理事会報告

日 時：令和2年5月14日(木) 15:00
～18:00

場 所 JMSCA 会議室を中心にテレビ会議
出席者 八木原会長、亀山、平山、丸各副
会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田
各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村
上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、
山本、古林、小日向、安藤各理事
中島、古屋各監事

1. 開 会

初めてのテレビ会議での理事会開催に
ついて会長挨拶があり、事務局から理事
23名、監事2名の出席が確認されてから、
事務局がホストを務めて議事に入った。

2. 議 題

(1) 議案第1号 議事録の承認について
令和元(2019)年度第11回理事会議事録の
承認について(事前送付済)

異議なく承認。

(2) 議案第2号 令和元(2019)年度事業
報告(案)について

一部加筆訂正あり。6月理事会まで検討
継続。

(3) 議案第3号 令和2年度定時総会につ
いて

定時総会日程を特例措置として8月2日
(日)に変更することを承認。出席方式か
書面決議方式かは、今後のコロナ禍の状況
次第。

(4) 議案第4号 会員規程の一部改正につ
いて

第5条第4項が提案通り承認された。

(5) 議案第5号 JSPO コーチ、JMSCA 審判
員・ルートセッターの認定承認について

①JSPO コーチ認定

コーチ1: 遠藤光志、村上友志(岩手)

コーチ2: 出江俊夫、渡邊智義(東京)

※今後、審査結果を添付する事

②C級審判員認定

別紙81名

③B級審判員(昇格)認定

宮原敏明(佐賀)、中島陽子(山梨)、篠

原大太(埼玉)、森本穰(神奈川)

④C級ルートセッター認定

松浦凌(神奈川)

⑤一般ルートセッター認定

松本雄太郎(愛媛)、篠原朋泰(愛媛)

⑥B級ルートセッター認定

笠原大輔(長野)、浅田史樹(大阪)

以上、①～⑥を認定承認。

(6) 議案第6号 正会員の入退会について

{入会} 宮原敏明(佐賀)、寺崎良夫(福
岡)、平子吉政(福島)、杉田浩康(長野)

{退会} 三森一男(福島)、多田修(佐賀)

以上、各氏の入退会を承認。

(7) 議案第7号 アスリートパスウェイの謝 金規程について

提案通り承認。

(8) 議案第8号 登録料の返戻について

インターハイの中止に伴う高体連登山
専門部の登録料の返戻について、各学校の
顧問が取り纏めたものを登山専門部事務
局から請求して貰い、返戻する

3. 報 告

(1) 報告第1号 公認指導員認定ミス及取
り消しについて

(2) 報告第2号 世界選手権検証経過報告
について

「予算執行管理に関する運用規律」につ
いて説明があった。

(3) 報告第3号 CAS 仲裁上訴の経緯・現
状について

(4) 報告第4号 「ストップ・ザ1000!!」登
山部報告

(5) 報告第5号 環境省自然保護指導員に
ついて

(6) 報告第6号 後援名義承認について

第40回日本登山医学会学術集会(中止)

(7) 報告第7号 加盟団体名称変更につ
いて

令和2年4月1日より長崎県山岳・スポ

ーツクライミング連盟、同年4月22日より
一般社団法人静岡県山岳・スポーツクラ
イミング連盟。

(8) 報告第8号 第78回国民スポーツ大会
(佐賀)視察について→中止

(9) 報告第9号 国体功労者推薦について
岡本安夫氏(神奈川)を推薦

(10) 報告第10号 監査所見に対する今後
の対応

(11) 報告第11号 令和元年度日山協山岳
共済会事業報告及び決算報告

(12) 報告第12号 クライミング大会のス
ケジュール変更案について

(13) 報告第13号 予算執行管理に関する
運用規律について

(14) 報告第14号 第75回国体(鹿児島)
開催可否の検討状況について

(15) 報告第15号 ACCの今後のスケジュ
ールについて

アジアユース選手権: 11/19～22、重慶
アジア選手権: 12/10～13、アモイ

(16) 報告第16号 山岳4団体の山岳スポ
ーツ自粛の第2弾声明文について

4. 専門委員会報告(抄録)

4-1. SC医科学委員会

3月21日(土) 19時～20時 テレビ会
議 出席8名

ア) 議事

①今後の競技会医務担当割り当て(JMSCA
主催大会医務予定)

②各業務担当委員報告(年度総括含む)

1) 救護担当(中島委員、大森委員)

a. 人員配置

BJCは擦過傷が多く、コールゾーンとアイ
ソレーションに人員配置した方がよい。

BJCは医師2名、アシスタント2名体制が
望ましい。CJCも同様の体制を希望。

b. トランシーバー

運営とのトランシーバーは常設されて
いるが、メディカル用トランシーバーが別
途必要(2台)。医師はメディカル用、アシ
スタントは運営用トランシーバーを携帯
することが望ましい。

c. 絆創膏、拭き取りガーゼについて

擦過傷に対する傷パワーパッドは剥がれやすい。大きい擦過傷に対応し、はがれにくいケアリーヴ（ニチバン製）の使用を提案。

ティッシュは拭き取りに不適。未滅菌ガーゼ、ウェットティッシュ、キッチンペーパー等も処置が必要。

d. 担架について

会場に担架がある場合はそれを使用。（事前に運用方法を確認）

会場にない場合（ジャパンツアーなど）は医科学委員会の携帯担架を使用する。

e. そのほか

・BJC では会場が暗く、処置に困難なことがある ⇒LED ヘッドライトを4つ購入。

・救護ベストも不足している ⇒M、Lを同デザインで10枚ずつ追加作成する。

2) 強化連携担当（六角委員長）

MNES 社製の画像診断ツールを現在導入している OneTap と連携させ、遠隔画像診断を可能にする。 ⇒1 選手あたり 500 円ほどの支出 ⇒ OneTap 上で医療画像やスマホで撮影した画像データを権限者のみ閲覧できる。

4-2. 指導委員会

4月6日（月）19：00～21：00 テレビ会議、出席9名

ア) 議事

①SC コーチ認定申請書の件(委員会承認ミス)について

3月30日にJMSCA 理事会の承認がおりてJMSCA の印鑑を押印した書類を2名に送り、4月3日に2名の承認を得た。次はJSP0へ報告。

②冰雪技術研修会報告 令和2年2月15日～16日

コーチ2の受講者の4名を得点表、申請書類を元に継続審議して全員雪上技術合格として、次のステップ（2名学科問題の送付、2名の登攀研修会受講案内）へ。

③夏山リーダー講師養成講習会

a. 2020年度として7月12日に熊本で開催予定、コロナの影響で未定。

b. 2020年度の予定として東北地区でも行う予定だが、未定。

④夏山リーダー講習会

東京、金沢、広島、和歌山、近畿地区と予定して、日付が決まった地区は、HPにアップしたがコロナの影響で、東京、石川が中止になった。

⑤夏山リーダー検定会

神奈川で開催予定だが、詳細は未定

⑥夏山リーダー資格認定ピンバッジおよびワッペンについて

⑦夏山リーダー講習会として認定

2020年度は大阪府と三重県の講習会を認定の予定だが、大阪より、現在の夏山リーダーのカリキュラムと大阪のハイキングリーダーとの比較表が届いている。

コロナが収束する状況を見極めて、2020年度は大阪だけでも、認定を行いたい。

⑧パンフレットに関しては、写真の差し替えと問い合わせ先を都道府県山岳連盟（協会）の担当者に変更することが、5,500円で可能なので、全国へ発信。

⑨富士山氷雪技術研修会

2020年度は中止とし、主任検定員は有効期限を1年延長して対応する。

⑩6月6～7日予定の全国指導委員長会議は、延期、出来ない場合は、何らかの方法で以下の情報を発信した方が良いのではないかと

・SC 指導委員会が出来る事について（都道府県岳連の対応）

・全国指導委員長会議の進めたかなど

2021年度の全国指導委員長会議の日程、6月第1週の土日（6/5～6/6）と決定。

⑪スポーツリーダー資格に代わり、コーチングアシスタント資格の創設→委員長より全国発信。

⑫その他

a. 2021年度より、スポーツクライミング指導委員会が発足した。

新任の常任・専門委員は、遠方からでも参

加可能出来るようにビデオ会議を検討。

b. 5月指導委員会の日程について

5日11日（月）コロナが収束しない場合は、テレビ会議

4-3. 遭対委員会総会

3月28日 18時～19時30分 スカイプにて 18人参加

ア) 2020年度常任委員について常務理事会に諮る。

イ) 2019年度事業報告 安全登山普及事業

①山岳レスキュー講習会

JSC totoの補助金事業。

②研修会及び研究会

講習会における遭難事故防止のための研究・指導

a. 遭難対策委員研修会

b. 全国遭難対策委員長会議

③全国山岳遭難対策協議会の共催

④山岳保険加入者の事故調査

⑤遭難事故科学的研究支援

⑥夏山リーダーへの取り組み

ウ) 2020年度事業計画

以下の内容について資料に基づき報告を行った。

①2020年度予算

②安全登山普及事業

a. 全国遭難対策委員長会議

b. 常任委員会（各月）

c. 全国山岳遭難対策協議会の共催（スポーツ庁他）

③夏山リーダーへの取り組み

④山岳レスキュー講習会

⑤遭対委員研修会、総会

⑥山岳保険加入者の事故調査

⑦遭難事故の科学的研究支援

⑧共済会活動

⑨減遭難活動

エ) 減遭難活動（別紙案参照）

追加提案：関東、関西の山岳事故が多発する山域で事故内容を調査し、対策を実

施する。

例として、山岳事故が多発する箇所に案内板、ロープ等の設置を実施する等。

4-4. 登山医科学委員会

4月12日 zoomにて15名出席

ア) 2019年度事業報告

①JSPD 公認スポーツドクター養成支援

②UIAA MedCom UIAA MedCom Meeting への出席

11月7-8日、Bolzano, Italy. 上小牧委員が出席

③JMSCA が支援している医科学的諸事業

④調査研究事業

a. トレラン大会の安全基準作成のための調査研究

b. 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査：

8月3-5日：第63回全国高等学校登山大会（宮崎県）に救護支援

c. 「高山病と関連疾患の診療ガイドライン」の各都道府県山岳連盟（協会）への配布

イ) 2020年度事業計画

UIAA MedCom 関連

① UIAA MedCom Meeting(Interlaken, Switzerland)への出席

正規メンバーの増山委員が出席予定。次期正規メンバーの上小牧委員も可能なら同行。

② ADVICE AND RECCOMENDATION の和訳分担

③インターハイ登山競技救護支援

2020年8月に開催予定であるが新型コロナウイルス感染のため開催は難しいかもしれない。

④無雪期・積雪期セルフレスキュー救護支援

無雪期：ファーストエイド実習やシュミレーショントレーニングの支援

積雪期：「低体温症」の講義、その他

⑤調査研究事業

a. 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査

インターハイ登山競技の傷病者発生の状況を経年的に分析

b. 夏山リーダー講習会支援の準備状況と

今後の方針

c. 2021年度以降の支援事業

以下2事業を21年度以降の支援事業に加えるための準備をする。

d. スノーシューイング大会（全日本、世界選手権）の救護支援

e. 山岳スキー大会（日本選手権）の救護支援

ウ) その他

本年2月に理事長会議で各都道府県に配布した「高山病と関連疾患の診療ガイドライン」は各岳連の講習会における参考資料として活用してほしい。内容について都道府県岳連から質問や問い合わせの希望がある際には返答するシステムを作りたい。大城委員に日本登山医学会のガイドライン作成委員会で検討いただくようお願いをした。

5. 会務・役員派遣

(3月6日～4月8日)

(1) オリンピックテストイベント 3月6日

(金)～7日(土)

於：青海アーバンスポーツパーク 村岡、

小日向理事、安井強化委員長他

(2) スポーツ安全協会評議員会 3月19日(木)

於：東海大校友館霞が関ビル35F 尾形専務理事

(3) IFSC TV 会議 3月24日(火)

於：JMSCA 会議室 八木原会長ほか

(4) 東京2020 オリンピック延期発表 3月24日(火)

(5) 第3回CJC 実行委員会

3月25日(水) 於：盛岡市 村岡理事